

2019年5月15日
イオン北海道株式会社
イオンアグリ創造株式会社

**農業への理解を深めるため、子どもたちがさまざまな農作業を継続体験！
「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」を開催**
北海道三笠農場で農業の仕組みや環境の大切さを学びます

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、5月19日（日）を皮切りに7月にかけて計3回、イオンアグリ創造株式会社（以下、イオンアグリ創造）が運営する北海道三笠農場にて、継続的に農作業を体験する「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」を開催します。

「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」は、収穫や苗の植え付けなどの一側面に限らず、畑の管理なども含めた農作業を体験することで、農業についての理解を深めることを目的に実施します。加えて、植物の仕組みや、農業と環境との関わりなどについても学ぶ機会を設け、1プログラムあたり3～4回のカリキュラムで開催されます。

第1回目の5月19日（日）は、「イオンスーパーセンター三笠店（以下、S u C三笠店）」「イオン東札幌店」「イオン札幌栄町店」のイオンチアーズクラブ約30名が参加し、「植物の生理と仕組みについて」をテーマに、黒サングきゅうりの育て方や栽培方法を学んで苗を植えます。第2回目の6月は、生育状態の確認や整枝作業などを行い、7月の最終回で収穫体験を行います。

当社は、次代を担う子どもたちが健やかに成長し、笑顔があふれる未来にするためにこれからも学習機会の提供、青少年の健全な育成を支援する活動を継続して行ってまいります。

＜過去の活動の様子＞



【作物の生育や特徴をスケッチして学習】



【収穫体験】

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道(株) 総務部広報・IR 佐藤・山崎

電話：011-865-9111

【北海道三笠農場「イオン チアーズクラブ ファーマーズプログラム」の概要について】

実施日：第1回 5月19日（日） 13：00～14：30※予定

（内容）黒サンゴきゅうりについての学習と定植など

第2回 6月23日（日）※予定

（内容）黒サンゴきゅうりの整枝作業、三笠市立博物館見学

第3回 7月21日（日）※予定

（内容）黒サンゴきゅうりの収穫

場 所：イオンアグリ創造㈱ 北海道三笠農場

参加者：S u C三笠・東札幌・札幌栄町イオンチアーズクラブ 約30名

（引率のチアーズコーディネーター含む）

対象農作物：黒サンゴきゅうり

ご参考

◆イオンチアーズクラブについて

公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。地域の子どもたちが月に1回程度集まり、イオン各店舗の従業員のサポートのもと、環境をテーマにさまざまな活動に取り組んでいます。2019年度のテーマは「太陽」です。

当社のイオンチアーズクラブは、現在40店舗で発足しており、イオンチアーズクラブメンバーは約530名、メンバーをサポートするコーディネーター（イオン北海道従業員）は約230名で運営しています。

※公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、1989年に設立されました。以来、イオングループの主要企業の税引前利益1%の寄付をもとに、社会貢献活動を行っています。2015年に公益財団法人へ移行し、「次代を担う青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善の促進」「地域社会の持続的発展」に資する事業を3つの柱として活動しています。

◆イオンアグリ創造「北海道三笠農場」

「北海道三笠農場」は、イオンアグリ創造が運営する農場では最大級の耕作面積（31ヘクタール）。今年度の作付け計画は、黒サンゴきゅうりの他、ほうれん草、こまつな、とうもろこし、三笠メロンなどを生産。北海道の「イオン」「イオンスーパーセンター」の40店舗でお取り扱いしています。イオンアグリ創造は、生産から販売まで一貫してイオングループ内で管理することで、お客さまニーズに応える安全で高鮮度な食材を合理的価格で供給しています。

※出荷数量により、取扱い店舗数は変動します。